

## 試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2022-1011	利用形態	共同研究		
研究題目	乳がん患者の血漿メタボローム・プロテオーム解析による乳がん罹患リスクに関連するバイオマーカー探索		研究期間	2023年1月～2025年3月	
代表研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・職	濱中 洋平	准教授
分担研究機関	東北大学医学系研究科		責任者 氏名・職	石田 孝宣	教授
研究目的と意義	乳がんを罹患している人と乳がんを罹患していない人の血液中の蛋白質と代謝物の違いを調べ、乳がんを罹患しやすい体の状態であることを知る指標となる物質を探索する。それにより、日本人女性が自分が乳がん罹患しやすいかどうかを知り、生活習慣を改善することでそのリスクを下げるのが可能となることを目的とする。				
研究計画概要	乳がん患者の血液検体を用いて、体内で代謝された物質の種類と量を網羅的に調べる解析(メタボローム解析)と体内で生成されたタンパク質の種類と量を網羅的に調べる解析(プロテオーム解析)を行う。また、東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査の参加者で乳がんの既往がない方のメタボローム解析およびプロテオーム解析の結果を用いて、乳がんを罹患している人と乳がんを罹患していない人との比較解析を行う。				
利用試料・情報	対象:コホート調査参加者 20歳以上女性 最大3,000人 試料:なし 情報:基本情報、調査票情報、メタボローム情報、プロテオーム情報				
期待される成果	乳がんを発症する高リスクの状態に関わるバイオマーカーを探索し、そのバイオマーカーを変化するための生活習慣を提案することで、乳がん罹患リスクを低減する個別化予防への貢献が期待できる。				
倫理審査等の経過	2023年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認				
倫理面、セキュリ ティ面の配慮	利用する情報は、東北メディカル・メガバンク機構スーパーコンピューター内で、許可された研究者のみがアクセスして行う。 乳がん患者の検体は、東北大学病院個別化医療センターにおいて、同病院に入院した患者から二次的利用を含む同意のもとに取得し、バイオバンクに保管されている検体を利用する。				
その他特記事項	科学研究費助成事業				
(事務局使用欄)	* 公開日 令和5年2月1日				